

第289回 横浜市放置自動車及び沈船等廃物判定委員会会議録	
日 時	令和6年11月21日(木曜日) 午後2時から午後3時まで
開催場所	横浜市役所 18階会議室 さくら14
出席委員	藤倉委員長、平川委員、河村委員、齋藤委員、高杉委員、松山委員
欠席委員	三井委員
開催形態	公開(傍聴者0人)
議 案	1 「第288回横浜市放置自動車及び沈船等廃物判定委員会会議録(案)」の確認について 2 放置自動車及び沈船等の廃物判定について
決定事項	1 「第288回横浜市放置自動車及び沈船等廃物判定委員会会議録(案)」を確認した。 2 放置自動車1件、沈船等2件を廃物とした。
議 事	<p>1 「第288回横浜市放置自動車及び沈船等廃物判定委員会会議録(案)」の確認について            議案に基づき、事務局が作成した第288回会議録(案)について、委員長が各委員に確認を求め、各委員からの確認を得た。</p> <p>2 放置自動車及び沈船等の廃物判定について            議案に基づき、放置自動車1件、沈船等2件について事務局が説明を行い、委員長が各委員からの質問を求めた。</p> <p>【 放置自動車 】</p> <p>(整理番号15271)</p> <p><b>松山委員</b> 車両は施錠されていますか。</p> <p><b>事務局</b> 施錠されています。</p> <p><b>河村委員</b> 当初は所有者と連絡が取れていたということですか。</p> <p><b>事務局</b> はい。引っ越してから、連絡が取れなくなりました。</p> <p><b>齋藤委員</b> 今回のケースは、判定基準の一つである「車内外にごみが散乱し、ごみ捨て場化している」にも該当しているように思いますが、いかがですか。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 判定基準の考え方ですが、もともとごみが散乱していたケースを想定しているのですか。それとも、その放置自動車があることにより、ごみ捨て場のようにになってしまうことを想定しているのですか。</p> <p><b>事務局</b> 後者の考え方です。今回の放置自動車は施錠されており、また、比較的短期間で放置場所から市保管場所へ一時移動しています。そのため、車内に多数のごみがありますが、更なるごみを呼び込んでいる状況ではないため、別の基準で諮問しています。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 整理番号 15271につきましては、廃物と判定することにご異議ございませんか。</p> <p><b>各委員</b> (異議なし)</p> <p><b>藤倉委員長</b> 整理番号 15271を廃物と判定することと決定いたしました。</p> <p>【 沈船等 】</p> <p>(整理番号 船576)</p> <p><b>河村委員</b> 平成20年に発見とのことですが、廃物判定委員会に諮問するまで時間がかかったのはなぜですか。</p> <p><b>事務局</b> 沈船化したのは令和6年4月と最近です。船体の腐敗が進んでいるため、船体の一部が流れ出し他船の航行の妨げとなる恐れがあると判断しました。他船の航行の妨げになるのか等で処分をする優先順位が変わります。</p> <p><b>松山委員</b> 参考までに、船舶は使用しないと傷みが早まり、沈むことがあります。</p> <p><b>齋藤委員</b> 材質はアルミで間違いありませんか。</p> <p><b>事務局</b> 近寄って確認をしたところ、アルミであることが判明しました。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 船舶の一部がなくなっていますが、この部分はどうなったのでしょうか。</p> <p><b>事務局</b> 腐敗し、海底に沈んだと考えられます。</p> <p><b>平川委員</b> 廃物判定基準1「沈没している場合」にも該当するのではないのでしょうか。</p> <p><b>事務局</b> 現在、引き揚げ済みであるので、現状から見て、廃物判定基準3「物理的側面から機能が失われている場合」を適用しました。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 整理番号 船576につきましては、廃物と判定することにご異議ございませんか。</p> <p><b>各委員</b> (異議なし)</p> <p><b>藤倉委員長</b> 整理番号 船576を廃物と判定することと決定いたしました。</p> <p>(整理番号 船577)</p> <p><b>平川委員</b> 沈船化が平成30年とのことですが、廃物判定委員会に諮問するまで時間がかかったのはなぜですか。</p>

	<p><b>事務局</b> 他の船舶の航行の妨げになるか等で処分の優先順位が変わります。当該船舶は杭の内側にあり、他の船舶の航行の妨げとなる可能性が少なかったこと、周辺が工業地帯で係留している船舶が多く景観への影響が少ないこと等から優先順位は高くありませんでした。また、周囲への聞き込み調査も行っており時間がかかったという理由もあります。しかし、近日、腐敗が進んでいるので今回諮問しました。</p> <p><b>斎藤委員</b> 浮いている状態で廃物の認定をした方が処分費用も抑えられ望ましいと思います。廃物判定基準3「物理的側面から機能が失われている場合」が存在することからも、沈む前の船舶を廃物とすることが想定されていると考えられます。</p> <p><b>事務局</b> 廃物に該当しそうかを調査をする根拠である「横浜市放置自動車及び沈船等の発生の防止及び適正な処理に関する条例」は基本的に沈船等を対象としているため、浮かんでいる船を調査することには制約がありますが、沈む前に調査・処分ができるように整理を行っているところです。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 横浜市の条例を根拠とした調査が難しいとしても、航行の支障という観点から、海上保安庁には立入検査の権限があるのでしょうか。</p> <p><b>松山委員</b> 海上保安庁には船舶の立入検査をする権限があります。当該船舶についても沈没前に捜査をし、その情報を自治体に共有していると思われます。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 当該船舶は船検番号が存在しているにも関わらず登録情報がないということですが、どういうことでしょうか。</p> <p><b>松山委員</b> 写真から判断すると、昭和62年に検査期間が切れ、その後手続きがなされていなかったと思われます。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 現在、横浜港内にはどのくらい廃物判定の対象となり得る船舶がありますか。</p> <p><b>事務局</b> 数十隻です。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 限られた予算の範囲で優先順位を決めるということでしょうか。</p> <p><b>事務局</b> その通りです。</p> <p><b>藤倉委員長</b> 整理番号 船577につきましては、廃物と判定することにご異議ございませんか。</p> <p><b>各委員</b> (異議なし)</p> <p><b>藤倉委員長</b> 整理番号 船577を廃物と判定することと決定いたしました。</p>
資料 特記事項	<p>1 資料</p> <p>(1)「第288回横浜市放置自動車及び沈船等廃物判定委員会会議録(案)」</p> <p>(2) 放置自動車及び沈船等関連資料 廃物判定委員会諮問一覧表</p> <p>2 連絡事項</p> <p>今回は、令和7年1月16日(木曜日)午後2時から、横浜市役所18階会議室 さくら14にて開催する予定である旨が伝えられた。</p>